

Jordan And Hamburg Wp
F-7931
Kazuhiro SEKI

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 3 月 2 8 日
Date of Application:

出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 0 9 0 0 7 2
Application Number:

[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 3 - 0 9 0 0 7 2]

出 願 人 株式会社オーテックジャパン
Applicant(s):

2 0 0 3 年 7 月 2 2 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号 出証特 2 0 0 3 - 3 0 5 8 1 6 9

【書類名】 特許願

【整理番号】 AJ-245

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 A60N 2/24

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県茅ヶ崎市萩園 8 2 4 番地 2 株式会社オーテック
 クジャパン内

 【氏名】 関 一裕

【特許出願人】

 【識別番号】 000128544

 【氏名又は名称】 株式会社オーテックジャパン

【代理人】

 【識別番号】 100088100

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 三好 千明

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 003311

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9808452

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 車両用シート

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 シートをスライドするスライド機構が、ベースと、該ベースより先端側へ延出自在に支持された第 1 スライダと、該第 1 スライダより先端側へ延出自在に支持され前記シートが設けられた第 2 スライダと、前記第 1 スライダを前記ベースに対して移動する駆動機構と、先端側に延出した前記第 2 スライダを基端側へ移動する際に該第 2 スライダの基端側への移動に応じて前記第 1 スライダを基端側へ移動する引き戻し機構とを備えた車両用シートにおいて、

前記第 1 スライダを先端側へ移動する際に、該第 1 スライダの先端側への移動に応じて前記第 2 スライダを先端側へ移動する送出機構を設けたことを特徴する車両用シート。

【請求項 2】 チェーン等の線状部材の一端部を前記ベースの先端側に固定し、前記線状部材の他端部を前記第 2 スライダの後端側に固定するとともに、前記第 1 スライダの先端側に前記線状部材を中途部で折り返す折返し点を設定して前記送出機構を構成したことを特徴する請求項 1 記載の車両用シート。

【請求項 3】 前記シートと前記第 2 スライダとの間に、フットレストの支持バーを引き出し自在に支持するシートレグを設け、

前記フットレストを前記シートレグ側へ移動して格納状態を形成した際に前記シートレグからの前記支持バーの引出方向への移動を阻止するロック機構を設けたことを特徴する請求項 1 又は 2 記載の車両用シート。

【請求項 4】 前記支持バーの側面に係止溝を設ける一方、

前記支持バーの上面へ向けて付勢され前記格納状態にある前記支持バーの前記係止溝に係合する係止爪と、該係止爪の前記係止溝への係合状態を操作時に解除する解除レバーとを設けて前記ロック機構を構成したことを特徴する請求項 3 記載の車両用シート。

【請求項 5】 前記フットレストの一側部に操作用の取っ手を設け、該取っ手が設けられた一側部から延出する第 1 バーと他側部から延出する第 2 バーとで前記支持バーを構成するとともに、前記シートレグに、前記第 1 バーを引き出

し自在に保持する第1保持部及び前記第2バーを引き出し自在に保持する第2保持部を設け、前記第2バーと前記第2保持部との摺接抵抗を、前記第1バーと前記第1保持部との摺接抵抗より小さく設定したことを特徴する請求項3又は4記載の車両用シート。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、自動車の座席を構成する車両用シートに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、車両には、図7に示すようなシート801が設けられており、該シート801は、当該シート801を車室外と車室内との間で移動する駆動装置802を介してフロア803に固定されている（例えば、特許文献1参照。）。

【0003】

この駆動装置802は、回転機構811上にスライド機構812が設けられて成り、シート801をドア開口部側へ回転した後、車室外へ移動できるように構成されてる。

【0004】

前記スライド機構812は、回転機構811で回動されるスイベルアッパ821に形成された一对のインナレール822と、両インナレール822の外側に設けられた一对のセンタレール823と、該センタレール823の外側に設けられた一对のアウタレール824とによって構成されており、該アウタレール824に架橋されたシートレッグ825には、前記シート801が固定されている。

【0005】

前記スイベルアッパ821には、図外の駆動モータが設けられており、該駆動モータで回動されるドライブsprocket 831には、駆動チェーン832が掛けられている。この駆動チェーン832は、前記インナレール822後端のsprocket 833で折り返されており、その一端は、前記センタレール823の後端部に架橋したセンタブラケット834に固定されている。また、前記駆動チェ

ーン 832 は、前記インナレール 822 前端のスプロケット 835 で折り返されており、その他端は、前記センタレール 823 の前記センタブラケット 834 に固定されている。

【0006】

これにより、前記ドライブスプロケット 831 で前記駆動チェーン 832 を駆動した際に、前記センタレール 823 を前記インナレール 822 に対して前後移動する駆動機構が構成されている。

【0007】

また、前記スィベルアッパ 821 には、戻しチェーン 841 の一端が固定されており、該戻しチェーン 841 は、前記センタレール 823 後端のスプロケット 842 で折り返されている。この戻しチェーン 841 の他端は、前記アウトレール 824 の後端部に架橋したアウトブラケット 843 に固定されている。

【0008】

これにより、前記駆動チェーン 832 を駆動して前記センタレール 823 を基端側へ引き戻した際に、該センタレール 823 後端のスプロケット 842 が戻しチェーン 841 の中途部を基端側へ移動し、該戻しチェーン 841 がアウトレール 824 を引き戻す引き戻し機構が構成されている。これにより、アウトレール 824 に支持されたシート 801 を車室内へ戻せるように構成されている。

【0009】

【特許文献 1】

特開 2001-001811 号明細書（「発明の実施の形態」の欄及び図 3）

【0010】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、このような車両用シートにあつては、アウトレール 824 を車室外へ延出する場合、傾斜したセンタレール 823 に沿った自重による降下力に頼らざるを得なかった。

【0011】

このため、前記アウトレール 824 に引っ掛かりが生じた場合、当該アウトレ

ール 824 をスムーズに延出することができず、シート 801 の移動に支障を来してしまう。

【0012】

本発明は、このような従来の課題に鑑みてなされたものであり、円滑なスライドを実現することができる車両用シートを提供することを目的とするものである。

【0013】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決するために本発明の請求項 1 の車両用シートにあっては、シートをスライドするスライド機構が、ベースと、該ベースより先端側へ延出自在に支持された第 1 スライダと、該第 1 スライダより先端側へ延出自在に支持され前記シートが設けられた第 2 スライダと、前記第 1 スライダを前記ベースに対して移動する駆動機構と、先端側に延出した前記第 2 スライダを基端側へ移動する際に該第 2 スライダの基端側への移動に応じて前記第 1 スライダを基端側へ移動する引き戻し機構とを備えた車両用シートにおいて、前記第 1 スライダを先端側へ移動する際に、該第 1 スライダの先端側への移動に応じて前記第 2 スライダを先端側へ移動する送出機構を設けた。

【0014】

すなわち、スライド機構でシートを先端側へ移動する際には、ベースに支持された第 1 スライダを駆動機構によって先端側へ移動する。すると、前記シートが設けられた第 2 スライダが、送出機構により前記第 1 スライダの移動に応じて先端側へ移動される。

【0015】

このように、第 1 スライダを移動する駆動機構からの駆動力は、前記第 2 スライダへ伝達され、この駆動力によってシートが設けられた前記第 2 スライダが移動される。

【0016】

また、請求項 2 の車両用シートにおいては、チェーン等の線状部材の一端部を前記ベースの先端側に固定し、前記線状部材の他端部を前記第 2 スライダの後端

側に固定するとともに、前記第1スライダの先端側に前記線状部材を中途部で折り返す折返し点を設定して前記送出機構を構成した。

【0017】

すなわち、ベースの先端側及び第2スライダの後端側には、チェーン等の線状部材の端部が固定されており、この線状部材の中途部は、第1スライダ先端側の折返し点にて折り返されている。このため、駆動機構によって前記第1スライダを先端側へ移動した場合、前記線状部材の中途部には、先端側へ向けた力が加えられる。すると、前記線状部材の他端部が固定された前記第2スライダは、当該線状部材に引張され、先端側へ移動される。

【0018】

さらに、請求項3の車両用シートでは、前記シートと前記第2スライダとの間に、フットレストの支持バーを引き出し自在に支持するシートレッグを設け、前記フットレストを前記シートレッグ側へ移動して格納状態を形成した際に前記シートレッグからの前記支持バーの引出方向への移動を阻止するロック機構を設けた。

【0019】

すなわち、フットレストをシートレッグ側へ移動して格納状態を形成した際には、前記フットレストの支持バーは、ロック機構によって前記シートレッグからの引出方向への移動が阻止される。

【0020】

このため、格納状態にあるフットレストの確実な保持ができる。

【0021】

加えて、請求項4の車両用シートにあつては、前記支持バーの側面に係止溝を設ける一方、前記支持バーの側面へ向けて付勢され前記格納状態にある前記支持バーの前記係止溝に係合する係止爪と、該係止爪の前記係止溝への係合状態を操作時に解除する解除レバーとを設けて前記ロック機構を構成した。

【0022】

すなわち、フットレストを格納状態にすると、支持バーの側面へ向けて付勢された係止爪が、前記支持バーの側面に形成された係止溝に係合することによって

、前記フットレストの引出方向への移動が阻止される。

【0023】

そして、フットレストを使用する際には、解除レバーを操作することによって、前記係止爪と係止溝との係合状態が解除される。

【0024】

また、請求項5の車両用シートにおいては、前記フットレストの一側部に操作用の取っ手を設け、該取っ手が設けられた一側部から延出する第1バーと他側部から延出する第2バーとで前記支持バーを構成するとともに、前記シートレッグに、前記第1バーを引き出し自在に保持する第1保持部及び前記第2バーを引き出し自在に保持する第2保持部を設け、前記第2バーと前記第2保持部との摺接抵抗を、前記第1バーと前記第1保持部との摺接抵抗より小さく設定した。

【0025】

すなわち、フットレストの一側部には、操作用の取っ手が設けられており、この取っ手によってフットレストの引き出し又は格納操作が行われる。

【0026】

このとき、前記取っ手に近い第1バーと第1保持部との摺接抵抗より、取っ手から遠い第2バーと第2保持部との摺接抵抗が小さくなるように設定されている。このため、前記取っ手からの操作力が小さくなる前記第2バーの摺動がスムーズに行われる。

【0027】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図に従って説明する。図1は、本実施の形態にかかる車両用シート1を示す図であり、シート2が駆動装置3を介してフロア4に固定された状態が示されている。前記駆動装置3は、前記フロア4に固定された回転機構5と、該回転機構5によって回動されるスライド機構6とからなり、該スライド機構6のスライドレール7に支持されたシート2をドア開口部側へ回転した後、車室外へ移動できるように構成されてる。

【0028】

すなわち、図2に示すように、前記回転機構5の回転軸11には、スライド機

構 6 のベースを構成するスイベルアッパ 12 が支持されており、該スイベルアッパ 12 には、離間して平行に設けられた一対のインナレール 13、13 が形成されている。各インナレール 13、13 の外側には、一対のセンタレール 14、14 が配置されており、両センタレール 14、14 の前端部及び後端部の上面には、板状のブラケット 15、16 が架け渡された状態でボルト締めされている。これにより、前記両センタレール 14、14 は、連結されており、前記スイベルアッパ 12 より先端側へ延出自在に支持された第 1 スライダ 17 が形成されている。

【0029】

該第 1 スライダ 17 のセンタレール 14、14 の外側には、一対のアウタレール 21、21 が配置されており、両アウタレール 21、21 の後端部の上面にも、板状のブラケット 22 が架け渡された状態でボルト締めされ両アウタレール 21、21 が連結されている。また、両アウタレール 21、21 の前端部の上面には、幅広の固定ブラケット 23 が架け渡された状態でボルト締めされており、両アウタレール 21、21 は、この固定ブラケット 23 で連結されるとともに、該固定ブラケット 23 上には、図 1 に示したように、シートレグ 24 を介して、前記シート 2 が固定されている。これにより、前記第 1 スライダ 17 より先端側へ延出自在に支持されるとともに、前記シート 2 が設けられた第 2 スライダ 25 が形成されている。

【0030】

前記スイベルアッパ 12 に形成された各インナレール 13、13 の外側面 31、31 には、図 2 に示したように、V 字溝 32（一方のみ図示）が長さ方向に形成されている。これに対向する第 1 スライダ 17 のセンタレール 14、14 の内側面 33、33 にも、V 字溝 34（一方のみ図示）が長さ方向に形成されており、両 V 字溝 32、32、34、34 で形成された空間には、保持金具 35 の各穴に位置決めされた鋼球 36、・・・が移動自在に収容されている。これにより、前記センタレール 14、14 は、前記インナレール 13、13 をに対して、長さ方向に移動自在に支持されている。

【0031】

前記第1スライダ17の各センタレール14, 14の外側面41, 41には、V字溝42（一方のみ図示）が長さ方向に形成されており、これに対向する第2スライダ25のアウタレール21, 21の内側面43, 43にも、V字溝44（一方のみ図示）が長さ方向に形成されている。両V字溝42, 44で形成された空間には、保持金具45の各穴に位置決めされた鋼球46, . . . が移動自在に収容されており、前記アウタレール21, 21は、前記センタレール14, 14に対して、長さ方向に移動自在に支持されている。

【0032】

前記両インナレール13, 13前端部の内側面51, 51には、取付部52, 52が凹設されており、各取付部52, 52に、図外のスプロケット支持ブラケットが固定されるように構成されている。

【0033】

前記インナレール13, 13の後部には、図外の駆動モータが設けられており、図1に示したように、該駆動モータで回動されるドライブスプロケット61には、駆動チェーン62が掛けられている。この駆動チェーン62及び後述の各スプロケットは、左右一対あるものとする。

【0034】

この駆動チェーン62は、前記インナレール13, 13の後端部に設けられたスプロケット63で折り返されており、その一端は、前記第1スライダ17のセンタレール14, 14後端部に架け渡されたブラケット16に固定されている。この駆動チェーン62は、前記インナレール13, 13の前端部に設けられたスプロケット64で折り返されており、その他端は、前記ブラケット16に固定されている。これにより、前記センタレール14, 14を備えてなる前記第1スライダ17を前記スイベルアッパ12に対して移動する駆動機構65が構成されている。

【0035】

前記インナレール13, 13前端部の下側には、線状部材である戻しチェーン71の一端が固定されている。この戻しチェーン71は、前記第1スライダ17のセンタレール14, 14の後端部に設けられたスプロケット72で折り返され

、その他端は、前記第2スライダ25のアウタレール21、21後端部のブラケット22に固定されている。これにより、前記駆動チェーン62を駆動して前記第1スライダ17を基端側へ引き戻した際に、該第1スライダ17後端のスプロケット72が戻しチェーン71の中途部を基端側へ移動し、該戻しチェーン71が第2スライダ25を基端側へ引き戻す引き戻し機構73が構成されている。

【0036】

また、前記インナレール13、13前端部の下側には、線状部材としての送出チェーン81の一端が固定されている。この送出チェーン81は、前記第1スライダ17のセンタレール14、14の前端部に設定された折返し点82のスプロケット83で折り返されており、その他端は、前記アウタレール21、21後端部の前記ブラケット22に固定されている。これにより、前記ドライブスプロケット61で駆動チェーン62を駆動して前記第1スライダ17を前記スィベルアップ12より先端側へ移動すると、これと同時に前記第2スライダ25を前記第1スライダ17より先端側へ移動する送出機構84が構成されており、当該第2スライダ25に支持されたシート2を、スライドレール7に沿ってスライドできるように構成されている。

【0037】

そして、前記シートレッグ24には、図3に示すように、フットレスト101が設けられている。

【0038】

このフットレスト101は、着座者が足を載せる載置板111と、該載置板111を支持する支持バー112とを備えて成り、前記載置板111の右側部からは、当該フットレスト101を出し入れ操作する為の取っ手113が右方へ向けて延設されている。前記支持バー112は、前記取っ手113が設けられた前記載置板111の右側部より後方Rへ延出した第1バー114と、前記載置板111の左側部より後方Rへ延出した第2バー115とによって構成されており、両バー114、115は、金属製の丸棒によって形成されている。両バー114、115で構成された支持バー112は、シート下部に設けられた前記シートレッグ24より引き出し自在に支持されている。

【0039】

該シートレグ24の右側部に設けられた第1ボックス121には、第1保持部としての第1保持パイプ122が前下がり状態で固定されており、該第1保持パイプ122には、前記第1バー114が抜き差し自在に挿入されている。また、前記シートレグ24の左側部に設けられた第2ボックス123には、第2保持部としての第2保持パイプ124が前下がり状態で固定されており、該第2保持パイプ124には、前記第2バー115が抜き差し自在に挿入されている。

【0040】

前記両バー114, 115は、各保持パイプ122, 124からの延出量が図外のストッパーによって規制されており、通常時には、前記両バー114, 115を各保持パイプ122, 124内へ挿入して前記載置板111をシート2側へ移動した格納状態Kを形成できるように構成されている。また、使用時には、前記各保持パイプ122, 124から前記両バー114, 115を引き出して前記載置板111をシート2前側に配置した引出状態（図示省略）を形成できるように構成されている。

【0041】

前記第1ボックス121内には、図4に示すように、前記格納状態Kを形成した際に前記第1保持パイプ122からの前記第1バー114の引出方向への移動を阻止するロック機構131が設けられている。

【0042】

すなわち、前記第1バー114の上面には、横方向に延在する線状の係止溝141が形成されており、前記第1保持パイプ122には、前記格納状態Kにおいて、前記第1バー114の前記係止溝141が位置する真上に切欠部142が形成されている。また、この切欠部142より前方F側には、支持ブラケット143が固定されており、該支持ブラケット143上部の回転軸144には、図5にも示すように、レバー構成部材145が回動自在に支持されている。

【0043】

該レバー構成部材145は、金属板が折曲形成されてなり、左側部151の後端には、横方向に屈曲された下方へ延出する係止爪152が設けられている。該

係止爪 152 は、図 4 にも示したように、前記第 1 保持パイプ 122 の切欠部 142 を挿通し、格納状態 K にある第 1 バー 114 の係止溝 141 内に挿入された状態で係合するように構成されている。

【0044】

前記レバー構成部材 145 の右側部 161 には（図 5 参照）、上方へ突出する突片 162 が形成されており、この突片 162 の先端には、コイルスプリング 163 の一端が係止されている。該コイルスプリング 163 の他端は、第 1 ボックス 121 内の起立壁 164 に係止されており、前記レバー構成部材 145 は、このコイルスプリング 163 によって、前記係止爪 141 が前記第 1 バー 114 の側面へ向けて付勢されている。

【0045】

また、前記レバー構成部材 145 の左側部 151 からは（図 5 参照）、前方 F へ向けて延出する舌片 171 が形成されており、該舌片 171 は、前記第 1 ボックス 121 前面 172 の開口部 173 を挿通するように構成されている。この舌片 171 には、樹脂製のノブ 174 が嵌着されており、該ノブ 174 を指で下方へ押圧した際に、前記係止爪 152 を上方へ変位して前記係止溝 141 との係合状態を解除する解除レバー 175 が形成されている。

【0046】

前記第 1 保持パイプ 122 の前後端には、図 6 に示すように、第 1 バー 114 を挿通する樹脂製の第 1 ブッシュ 182 が挿入されており、前記第 2 パイプ 124 の前後端には、第 2 バー 115 を挿通する樹脂製の第 2 ブッシュ 183 が挿入されている。

【0047】

前記第 1 ブッシュ 182 は、円形リング状の鏝部 191 と該鏝部 191 より延出した円筒部 192 とからなり、該円筒部 192 には、前記第 1 保持パイプ 122 に切り起こされた爪 193 に係止される係止穴 194 が形成されている。この円筒部 192 の先端には、中心部へ向けて窄んだ縮径部 195 が形成されており、該縮径部 195 が前記第 1 バー 114 の全周面と摺接するように構成されている。

【0048】

一方、前記第2ブッシュ183は、円形リング状の鍔部201と該鍔部201より対向して延出した断面円弧状の延出片202、202とからなり、各延出片202、202には、前記第2保持パイプ124に切り起こされた爪203に係止される係止穴204、204が形成されている。これら延出片202、202の先端部は、中心部へ向けて屈曲する屈曲部205、205が形成されており、両屈曲部205、205が前記第2バー115の周面に摺接するように構成されている。

【0049】

これにより、前記第2ブッシュ183が嵌着された第2保持パイプ124と前記第2バー115との摺接抵抗が、前記第1ブッシュ182が嵌着された第1保持パイプ122と前記第1バー114との摺接抵抗より小さくなるように設定されている。

【0050】

以上の構成にかかる本実施の形態において、スライド機構6でシート2を先端側へ移動する際には、スイベルアッパ12に支持された第1スライダ17を駆動機構65によって先端側へ移動する。

【0051】

すなわち、前記スイベルアッパ12の先端側及びシート2が設けられた第2スライダ25の後端側には、送出チェーン81端部が固定されており、この送出チェーン81の中途部は、第1スライダ17先端側の折返し点82に設けられたスプロケット83にて折り返されている。このため、前記駆動機構65によって前記第1スライダ17を先端側へ移動した場合、前記送出チェーン81の中途部には、先端側へ向けた力が加えられる。

【0052】

これにより、前記送出チェーン81の端部が固定された前記第2スライダ25が、当該送出チェーン81に引張され、先端側へ移動されることとなり、当該第2スライダ25に設けられた前記シート2が、この送出機構84によって前記第1スライダ17の二倍の移動量先端側へ移動される。

【0053】

このように、第1スライダ17を移動する駆動機構65からの駆動力によって第2スライダ25を先端側へ移動し、該第2スライダ25に設けられたシート2を先端側へ移動することができる。このため、シート2が設けられた第2スライダ25に引っ掛かりが生じた場合であっても、前記駆動機構65から伝達される駆動力によって、前記第2スライダ25及び前記シート2の移動を継続することができる。

【0054】

したがって、前記第2スライダ25に引っ掛かりが生じた際に、シート2の移動速度が変化する場合と比較して、シート2を一定速度で円滑にスライドすることができる。

【0055】

一方、フットレスト101をシート2下部のシートレッグ24側へ移動して格納状態Kを形成する際には、前記フットレスト101の支持バー112は、ロック機構131によって、前記シートレッグ24からの引出方向への移動が阻止される。このため、前記支持バー112の保持力を高めること無く、格納状態Kにあるフットレスト101の確実な保持ができる。

【0056】

したがって、引出操作性を損なうこと無く、フットレスト101の確実な保持ができる。

【0057】

また、このフットレスト101を格納するだけで、第1バー114の側面へ向けて付勢されたロック機構131の係止爪152を、前記第1バー114側面の係止溝141に係合することができる。これにより、前記フットレスト101の引出方向への移動を阻止したロック状態を形成することができる。

【0058】

そして、このフットレスト101を使用する際には、片手で載置板111右側部の取っ手113を握持するとともに、その親指でロック機構131の解除レバー175を下方へ押圧する。すると、前記係止爪152が上動し、該係止爪15

2と前記係止溝141との係合状態が解除されたアンロック状態を形成することができる。

【0059】

このように、格納時には、フットレスト101を格納するだけでロック状態を形成することができる。また、引き出し時には、フットレスト101の取っ手113を操作する手によってアンロック状態を形成することができる。

【0060】

また、この取っ手113を操作してフットレスト101の引き出し又は格納を行うことができる。このため、操作時の手の汚れを防止することができる。

【0061】

このとき、前記取っ手113に近い第1バー114と第1保持パイプ122との摺接抵抗より、取っ手113から遠い第2バー115と第2保持パイプ124との摺接抵抗が小さくなるように設定されている。このため、前記取っ手113からの操作力が小さくなる前記第2バー115の摺動をスムーズに行うことができる。

【0062】

よって、両バー114, 115を平行移動することができ、フットレスト101の引き出し格納作業が容易となる。

【0063】

なお、本実施の形態にあっては、駆動機構65や引き戻し機構73や送出機構84をチェーン62, 73, 71で駆動する場合を例に挙げて説明したが、これに限定されるものではなく、例えばベルトやワイヤ等の他の線状部材で駆動しても良い。

【0064】

【発明の効果】

以上説明したように本発明の請求項1の車両用シートにあっては、第1スライダを移動する駆動機構からの駆動力によって第2スライダを先端側へ移動することで、該第2スライダに設けられたシートを先端側へ移動することができる。このため、シートが設けられた第2スライダに引っ掛かりが生じた場合であっても

、前記駆動機構から伝達される駆動力によって前記第2スライダ及び前記シート
の移動を継続することができる。

【0065】

したがって、第2スライダに引っ掛かりが生じた際に、シートの移動速度が変
化する場合と比較して、シートを一定速度で円滑にスライドすることができる。

【0066】

また、請求項2の車両用シートにおいては、チェーン等の線状部材の端部を、
ベースの先端側及び第2スライダの後端側に固定するとともに、その中途部を第
1スライダ先端側の折返し点で折り返すことによって、第1スライダの移動に伴
って第2スライダを先端側へ移動する送出機構を形成することができる。

【0067】

これにより、構成の簡素化を図ることができる。

【0068】

さらに、請求項3の車両用シートでは、格納状態にあるフットレストの支持バ
ーの引出方向への移動をロック機構によって阻止することができる。このため、
車両衝突時などに大きな力が生じた場合であっても、支持バーの保持力を高める
こと無く、確実な保持ができる。

【0069】

したがって、引出操作性を損なうこと無く、フットレストの確実な保持ができ
る。

【0070】

加えて、請求項4の車両用シートにあつては、フットレストを格納状態にする
だけで、支持バー側へ付勢された係止爪を支持バーの係止溝に係合して、フット
レストの引出方向への移動を阻止することができる。そして、フットレストを使
用する際には、解除レバーを操作することによって、前記係止爪と係止溝との係
合状態を解除することができる。

【0071】

これにより、フットレストのロック状態及びアンロック状態を容易に形成する
ことができる。

【0072】

また、請求項5の車両用シートにおいては、フットレストの一側部に設けられた取っ手を操作して、フットレストの引き出し又は格納を行うことができる。これにより、操作時の手の汚れを防止することができる。

【0073】

このとき、前記取っ手に近い第1バーと第1保持部との摺接抵抗より、取っ手から遠い第2バーと第2保持部との摺接抵抗が小さくなるように設定されている。このため、前記取っ手からの操作力が小さくなる前記第2バーの摺動をスムーズに行うことができる。

【0074】

よって、両バーを平行移動することができ、フットレストの引き出し格納作業が容易となる。

【図面の簡単な説明】**【図1】**

本発明の一実施の形態を示す側面図である。

【図2】

同実施の形態のを示す分解斜視図である。

【図3】

同実施の形態のシートレグを示す斜視図である。

【図4】

同実施の形態におけるシートレグを示す要部断面図である。

【図5】

同実施の形態におけるレバー構成部材を示す斜視図である。

【図6】

同実施の形態におけるフットレストを示す分解斜視図である。

【図7】

従来の車両用シートを示す側面図である。

【符号の説明】

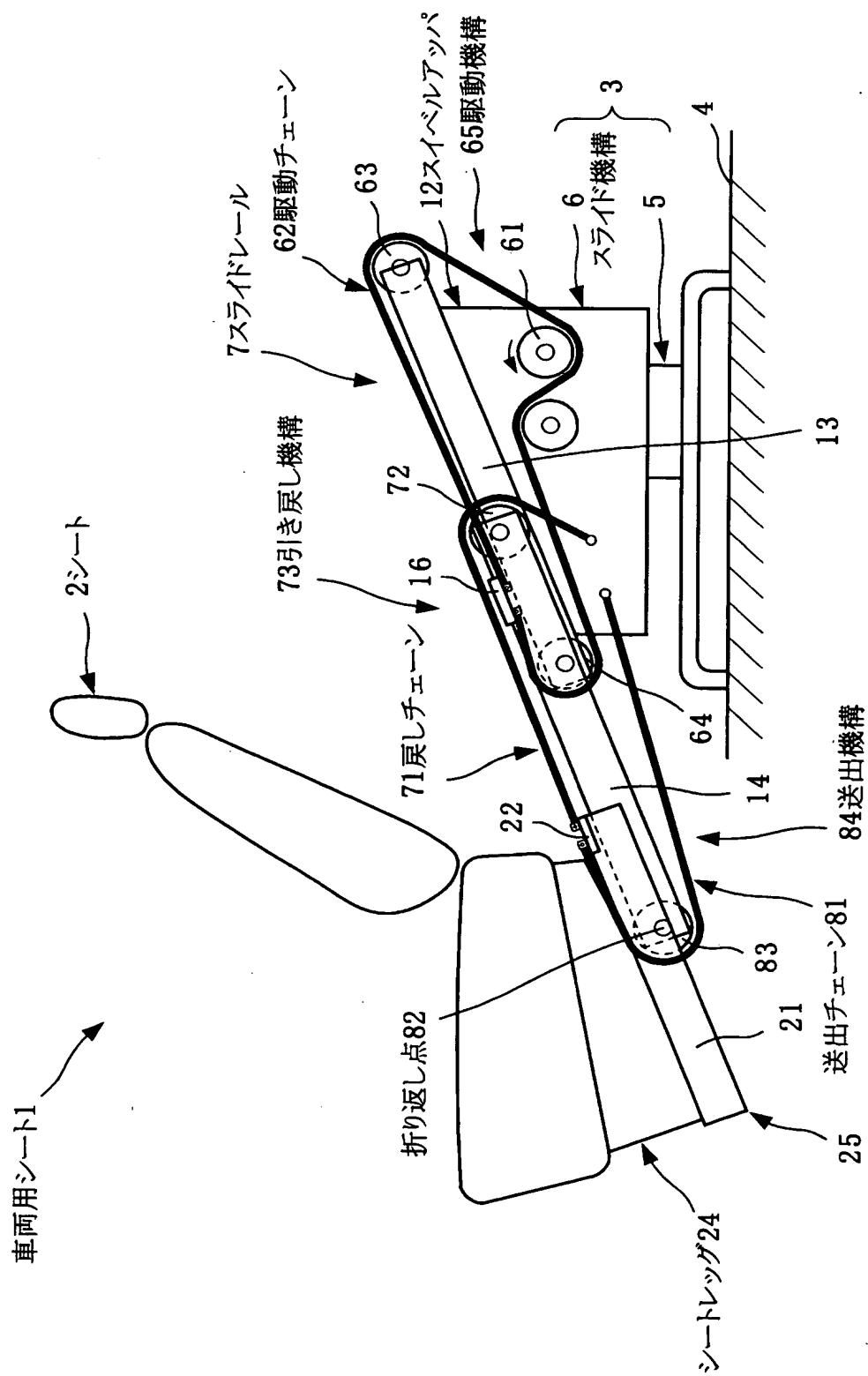
1 車両用シート

2	シート
6	スライド機構
7	スライドレール
1 2	スイベルアッパ (ベース)
1 7	第 1 スライダ
2 5	第 2 スライダ
2 4	シートレッグ
6 2	駆動チェーン
6 5	駆動機構
7 1	戻しチェーン
7 3	引き戻し機構
8 1	送出チェーン (線状部材)
8 2	折返し点
8 4	送出機構
1 0 1	フットレスト
1 1 2	支持バー
1 1 3	取っ手
1 1 4	第 1 バー
1 1 5	第 2 バー
1 2 2	第 1 保持パイプ (第 1 保持部)
1 2 4	第 2 保持パイプ (第 2 保持部)
1 3 1	ロック機構
1 4 1	係止溝
1 5 2	係止爪
1 7 5	解除レバー
1 8 2	第 1 ブッシュ
1 8 3	第 2 ブッシュ
K	格納状態

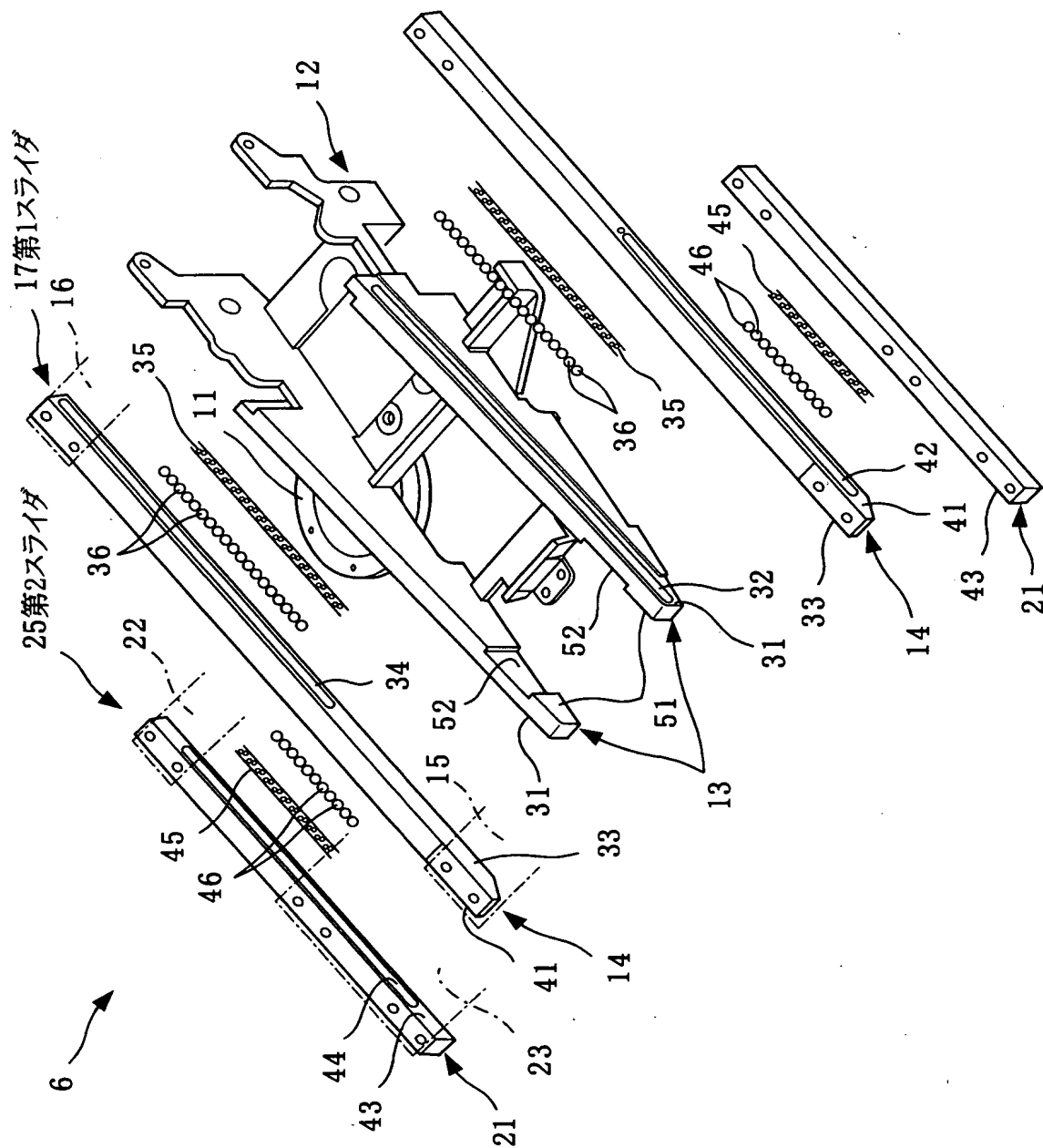
【書類名】

凶面

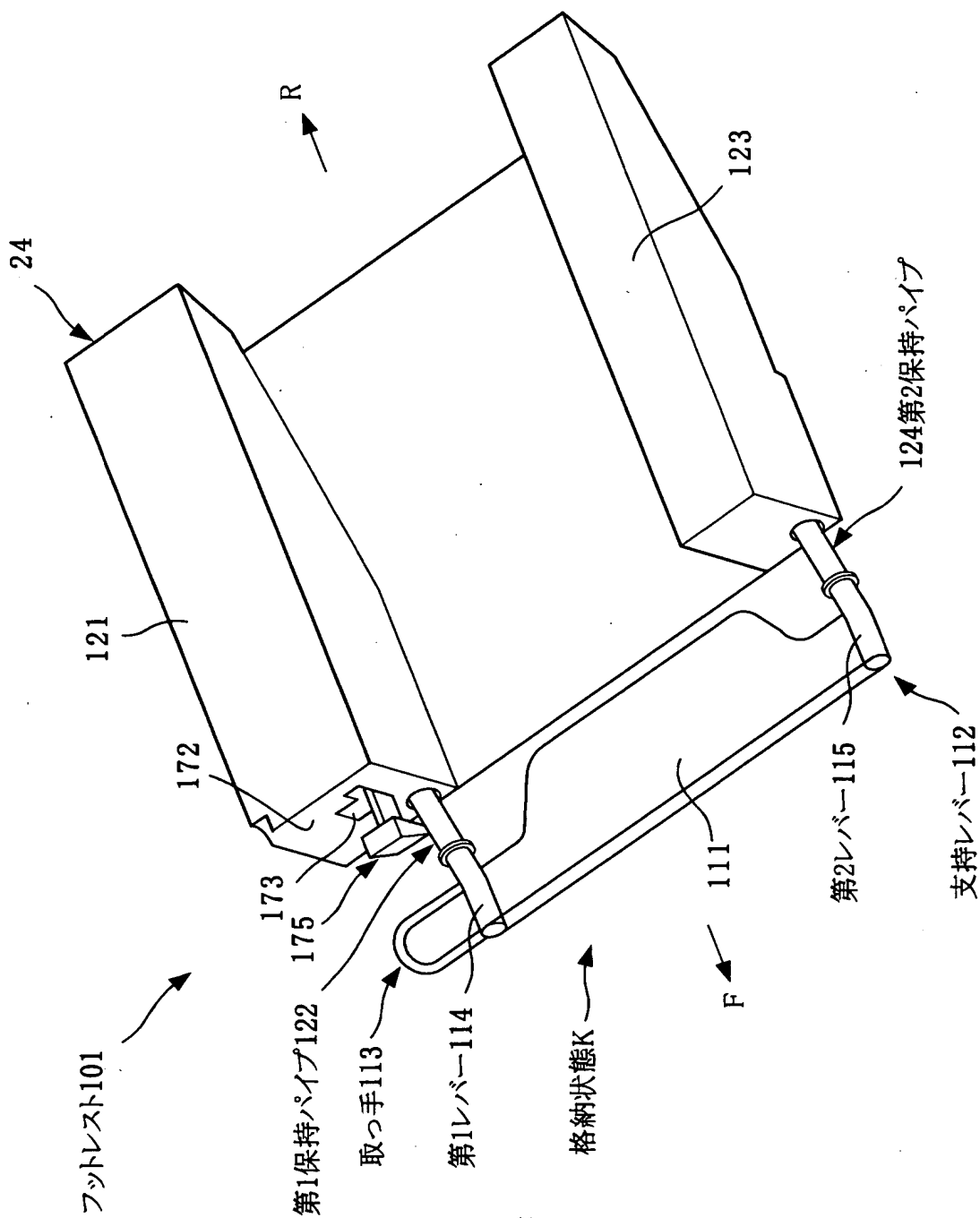
【図 1】



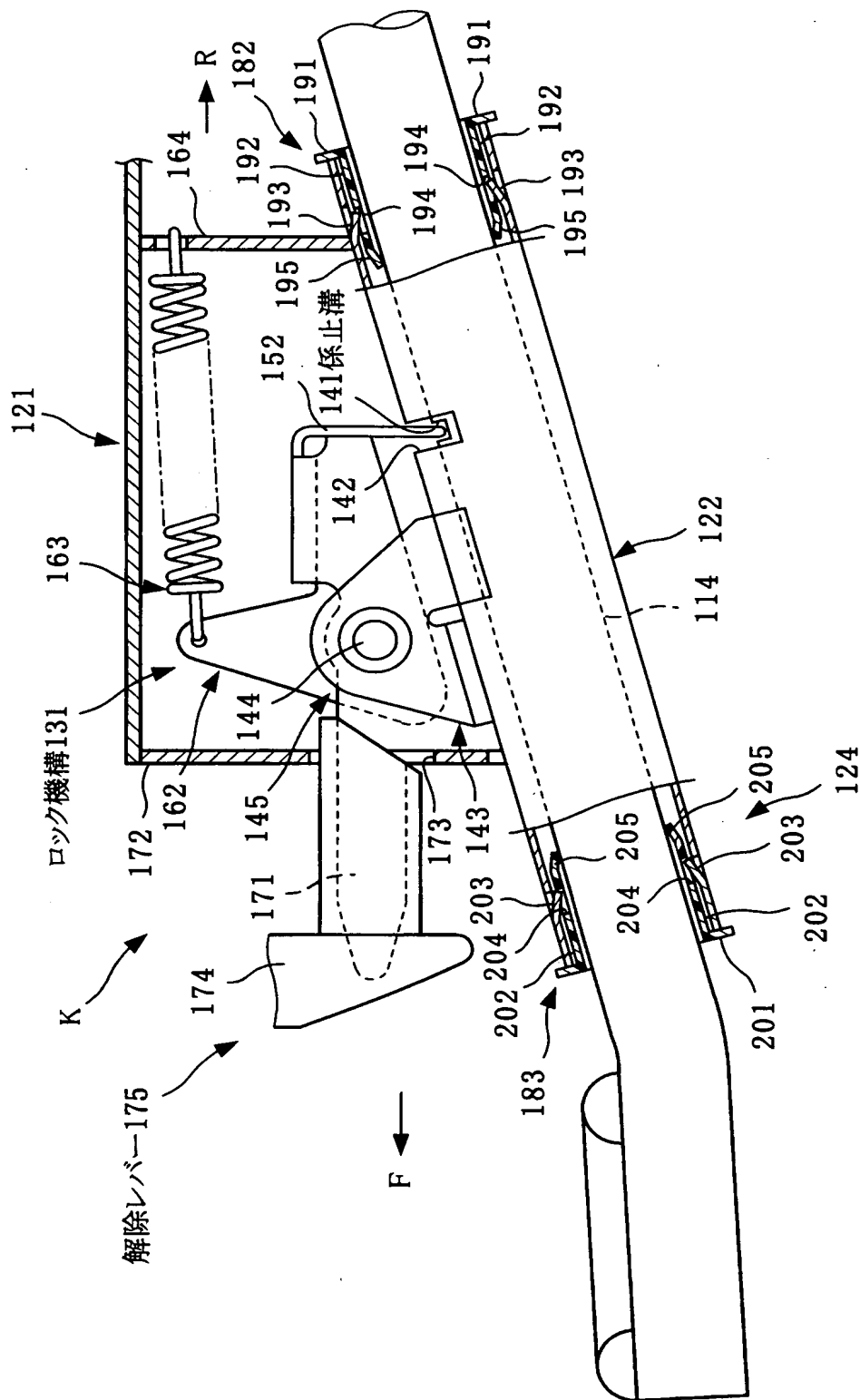
【図 2】



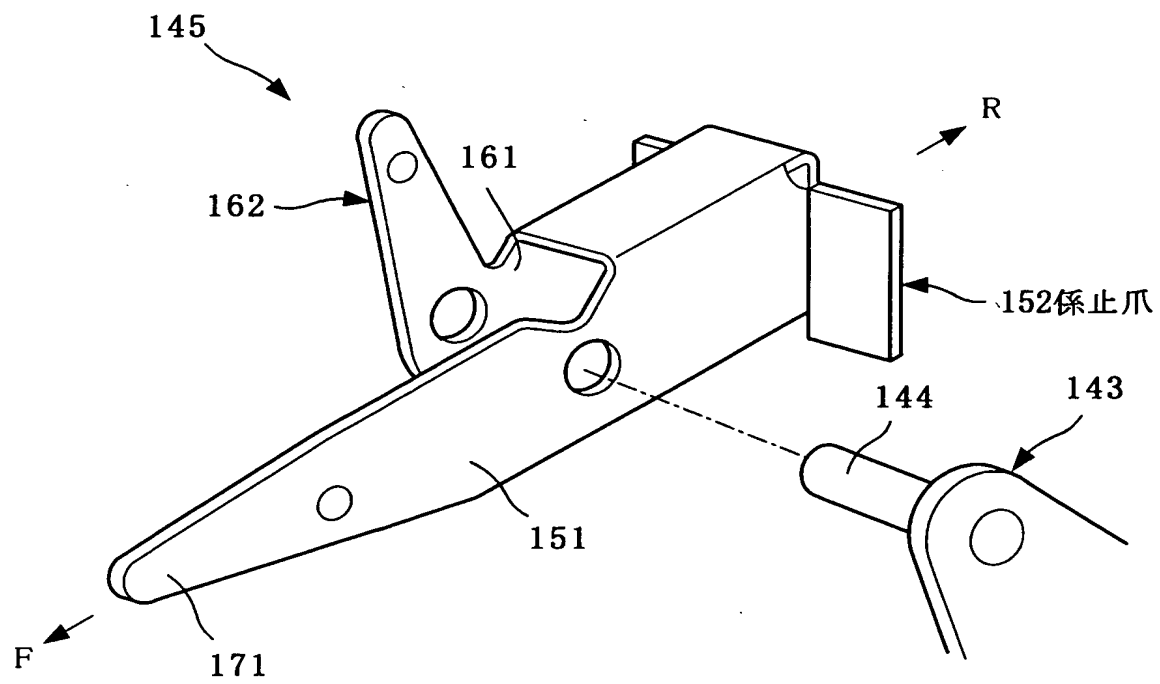
【図 3】



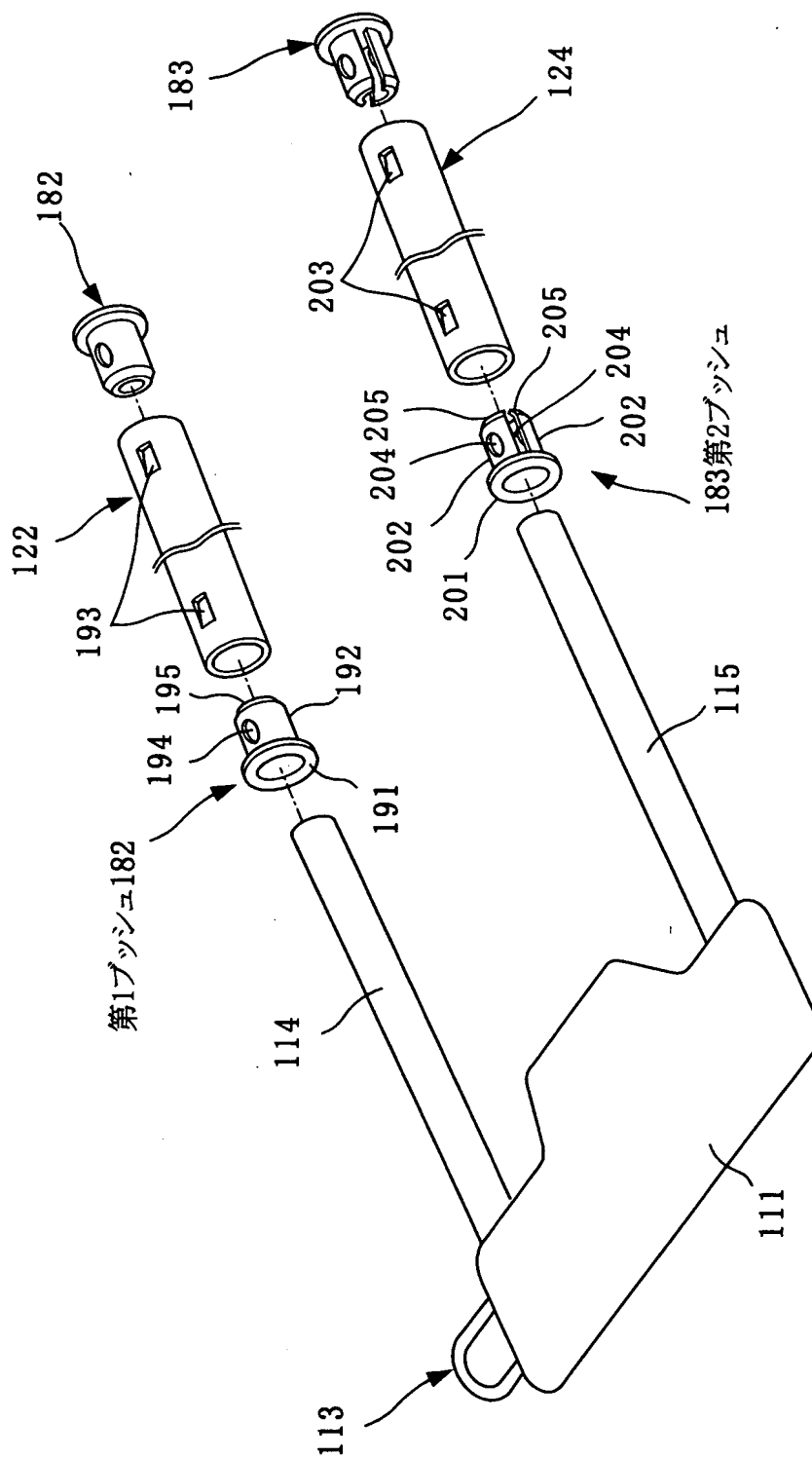
【図 4】



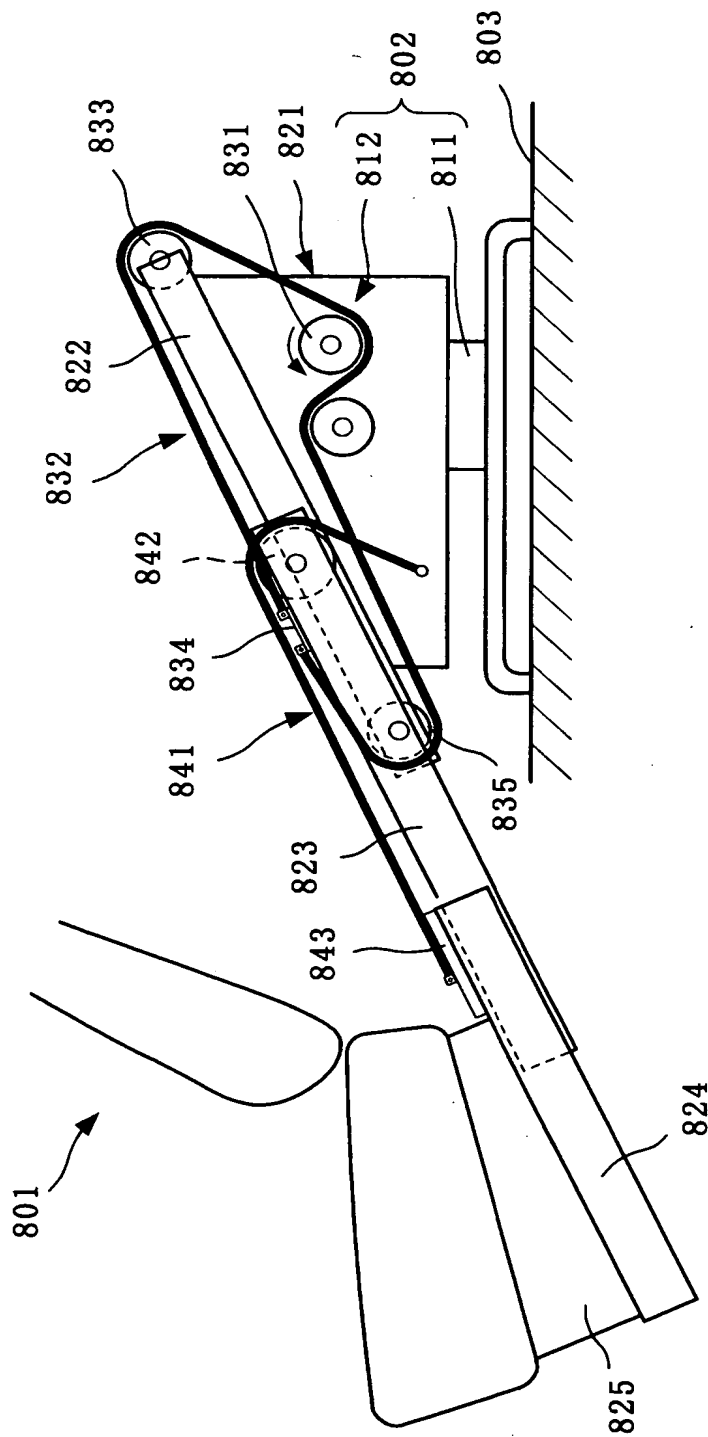
【図 5】



【図 6】



【図 7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 円滑なスライドを実現することができる車両用シートを提供する。

【解決手段】 インナレール 13 外側のセンタレール 14 をブラケット 15, 16 で連結して第 1 スライダ 17 を形成し、センタレール 14 外側のアウトレール 21 をブラケット 22 で連結してシート 2 が固定された第 2 スライダ 25 を形成する。ドライブsprocket 61 に掛けられた駆動チェーン 62 端部を、インナレール 13 のsprocket 63, 64 で折り返して第 1 スライダ 17 のブラケット 16 に固定して駆動機構 65 を構成する。インナレール 13 に固定された送出チェーン 81 を、センタレール 14 前端のsprocket 83 で折返してアウトレール 21 のブラケット 22 に固定し、第 1 スライダ 17 をスイベルアッパ 12 より先端側へ移動する際に、第 2 スライダ 25 を第 1 スライダ 17 より先端側へ移動する送出機構 84 を構成する。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2 0 0 3 - 0 9 0 0 7 2
受付番号	5 0 3 0 0 5 1 3 3 8 3
書類名	特許願
担当官	第二担当上席 0 0 9 1
作成日	平成 1 5 年 3 月 3 1 日

< 認定情報・付加情報 >

【提出日】	平成15年 3月28日
-------	-------------

次頁無

特願 2 0 0 3 - 0 9 . 0 0 7 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 1 2 8 5 4 4]

1 . 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 8 日

[変更理由]

新規登録

住 所

神奈川県茅ヶ崎市萩園 8 2 4 番地 2

氏 名

株式会社オーテックジャパン